

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2017-509023

(P2017-509023A)

(43) 公表日 平成29年3月30日(2017.3.30)

(51) Int.Cl.		F I		テーマコード (参考)
GO2B 6/46	(2006.01)	GO2B	6/46	2H036
GO2B 6/36	(2006.01)	GO2B	6/36	2H038

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 17 頁)

(21) 出願番号 特願2016-558654 (P2016-558654)
 (86) (22) 出願日 平成27年3月23日 (2015. 3. 23)
 (85) 翻訳文提出日 平成28年9月29日 (2016. 9. 29)
 (86) 国際出願番号 PCT/FR2015/050726
 (87) 国際公開番号 W02015/145055
 (87) 国際公開日 平成27年10月1日 (2015. 10. 1)
 (31) 優先権主張番号 1452674
 (32) 優先日 平成26年3月27日 (2014. 3. 27)
 (33) 優先権主張国 フランス (FR)

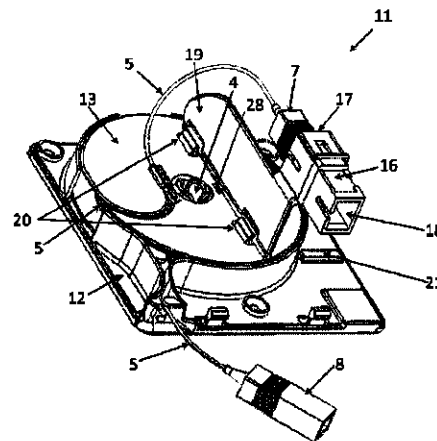
(71) 出願人 591034154
 オランジュ
 フランス・75015・パリ・リュ・オリ
 ヴィエ・ドゥ・セレ・78
 (74) 代理人 100108453
 弁理士 村山 靖彦
 (74) 代理人 100110364
 弁理士 実広 信哉
 (74) 代理人 100133400
 弁理士 阿部 達彦
 (72) 発明者 ダニエル・ルコック
 フランス・F-22140・ベルエ・コン
 フォール・クロ・デ・シャテーニュ・3・
 Fターム(参考) 2H036 QA46 QA48 RA24
 2H038 CA32 CA33 CA35 CA37 CA38
 最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 予め接続されたケーブルリールを含む光エンクロージャ

(57) 【要約】

本発明は光エンクロージャ(11)に関する。この光エンクロージャ(11)は、平面の表面にほぼ平行に取り付けることができるベース(12)と、そのベースにほぼ垂直な軸(4)の回りに回転するように配置されるスプール(13)と、そのスプールの中に巻き込まれる光ケーブル(5)と、接続具(16)であって、その一方の内側(17)が、前記ポートの内部において、ケーブルの「内部端部」と呼称される第1端部(7)に接続される、接続具(16)とを含む。その接続具の外側(18)は、外部の光接続プラグに接続するように想定される。ケーブルは、ケーブルの「外部端部」と呼称される1つの第2端部(8)を引き出すことによって、エンクロージャからほどくように想定される。この引き出しによって前記スプール(13)が軸(4)上において回転する。接続具(16)は、スプール(13)に固定されると共に、スプール(13)の半径方向の広がり面の外側の少なくとも1つの位置を占めるように想定される。

Fig 2



。